

日本看護学教育学会第34回学術集会へ参加しました

武蔵野大学看護学部から依頼をいただき、『ヘルスプロモーション実習』として、看護学生を毎年10名程度受入れています。この実習を通して、メンバーや自分自身の健康について実習生と共に考えたりしています。また、そもそも精神障害のある方と接したことがない実習生も多く、一緒に作業や交流をしてもらうことで、精神障害のある方への理解促進にも繋がっています。そのような実習生の受入れを通じて、今回縁あって8月20日に『日本看護学教育学会第34回学術集会』のプログラムの一つである『ヘルスプロモーション実習を通じた学びの深化と相互作用』というタイトルで、同じように実習を受入れている他2名の企業担当者の方と一緒に交流セッションに登壇させていただきました。セッション自体は1時間枠で、そのうちの10分程度ですが、当法人の活動や実習を通じて感じたこと、健康であるためには孤立しないこと、社会と繋がりを保つことが重要だとお話させていただきました。他2名の企業担当者様のお話しもお聞きでき、今後の実習生受入れのアイデアをいただける等、有意義な時間となりました。



発行人：障害者団体定期刊行物協会定価五〇円（会費に含まれる）

編集人：特定非営利活動法人ミュー

東京都武蔵野市中町3-4-9

ディアハイム武蔵野1階 0422(38)7661

SSKP ミュー MEW 通信 <129号>



特集：オープンMEWを開催しました!!

令和6年7月10日午後1時～4時まで、MEWとして初めての試みとなる「オープンMEW」（見学会）を開催しました。今回は関係機関を対象に行い、12事業所（障害福祉サービス、訪問看護ステーション、精神科デイケアなど）、合計18名が参加してくださいました。当日は、1時間ずつ3回に分けて実施しました。最初にスライドを上映してMEWの各事業所の説明を行い、実際に地域活動支援センターやワークショップMEWを利用しているメンバーに感想を話してもらいました。そして、ライフサポートMEWのフリースペースやワークショップMEWの作業室・リサイクルショップを見学しました。参加した方々の感想として、「MEWの活動についてスタッフだけでなく、利用者の生の声が聞けて良かったです。」「外から見ると中は大変広くて、ステキでした。すごく家庭的な温かい感じを受けました。」「業務で紹介する社会資源を言葉でしか知らなかったため、現場を見ることができ大変有難かったです。当事者のお話が何より良かったです。」など、とても好評を得ることができました。今回の試みは、資質向上委員会で職員に対するアンケート結果を検討したところ、MEWの職員が地域に対する働きかけに課題を感じていることがわかり、アクションを起こしてみようと企画しました。MEW長期事業計画の重点事項の1番目に「地域交流、地域に根差した法人運営を目指します。」と掲げている通り、地域貢献できる法人になるため、今後も開催の仕方や周知の方法を工夫しながら「オープンMEW」を継続していきたいと思えます。

資質向上委員会 江口 知子

正会員・賛助会員費納入のお願い

日頃より、NPO法人ミューの活動にご理解いただき、ご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。当法人では、正会員・賛助会員の入会を随時受け付けております。法人運営へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

正会員 <年会費：3,000円>

NPO法人ミューの目的に賛同し、総会で議決権をもつ個人及び団体

賛助会員 <年会費：2,000円>

NPO法人ミューの目的に賛同し、資金協力を行う個人及び団体

振込先

ゆうちょ銀行 口座番号 00190-1-700576 NPO法人MEW

■ 正会員・賛助会員の会費を納入頂いた方は、年1回当誌面及びホームページで氏名を掲載させていただいております。

※氏名掲載をご希望されない方は、その旨を振込用紙にご記入ください。

■ 振込用紙に正会員または賛助会員の記載がない場合、賛助会員費として処理させていただきます。

■ 正会員・賛助会員についてのお問い合わせは、NPO法人ミュー本部事務局までお願い致します。

お問い合わせ

法人事務局

〒180-0006

武蔵野市中町3-4-9ディアハイム武蔵野1階

TEL：0422-38-7661

FAX：0422-36-3700

E-mail：mew.honbu@gmail.com

URL：http://www.musashino-mew.com/

MEW公式SNS更新中!

ホームページよりご覧いただけます

NPO MEW
 @MEW_musashino

武蔵野市 MEW

検索

ワークショップMEW

TEL：0422-36-2089

(就労継続支援B型、就労定着支援)

〒180-0006 武蔵野市中町3-4-9ディアハイム武蔵野1階

ライフサポートMEW

TEL：0422-36-3830

(地域活動支援センター)

TEL：0422-27-8577

(指定特定・一般相談支援事業)

〒180-0006 武蔵野市中町3-4-9ディアハイム武蔵野1階

ミューのいえ

みなみユニット TEL：0422-55-5969

(共同生活援助) 西久保ユニット TEL：0422-38-8155
 (自立生活援助)

野菜販売始めました！

ワークショップMEW

近隣の方からの衣類や食器、雑貨、生地類、靴・鞆など多岐にわたる様々なご提供品により運営しているリサイクルショップ。6月から、ついに野菜も販売し始めました！

これはお隣、ライフサポートMEWが昨年からはじめた畑作業でお世話になっている『NPO法人武蔵野農業ふれあい村』さんからお話を頂き、朝採れの新鮮な野菜販売が実現しました。毎週火曜日(※第2を除く)の午前中、季節の野菜数種類、多い時には7~8種類にも及び色鮮やかな野菜が届きます。もちろん仕入れ→値付けになるのですが、最近では、常連のお客様が届き次第、野菜を手レジに行列…！なんて光景も見受けられるようになりました。さらに、季節の野菜を使ったピザパンなど、美味しいパンにも彩を添えてくれています。皆さん、是非、一度ご賞味ください♪



畑作業のご報告

ライフサポートMEW

～畑作業プログラムでは、野菜を育て、収穫し、食事サービスで美味しくいただいています!!～

ライフサポートMEWでは昨年度より武蔵野市役所産業振興課のご尽力により、市内農家さんの畑の一部で農福連携(農業と福祉の連携)を行っています。私たちだけで野菜を育てることは難しいため、MEWの活動についてご理解いただき、広く市民が農業に触れ合う機会を企画運営している「NPO法人武蔵野農業ふれあい村(以下ふれあい村)」さんにもご協力いただいています。5月から冬頃まで週1回、市内の畑にて野菜の育て方を教えてもらっています。写真は今夏収穫した夏野菜たちです。秋冬に育てる野菜も皆で相談しながら決めていきます。栄養満点の新鮮とれたて野菜をたっぷり食べて、自然のパワーをもらえる機会は何物にも代え難い経験です。さらに、今年度から法人内ではワークショップMEWにて「ふれあい村」さんが丹精込めて育てた野菜を販売し始めました。お客さんにもご好評いただいているようです。



あま〜い♪



たくさんとれました！

西久保ユニットで3名が卒業されました

ミューのいえ

ミューのいえ西久保では、今年3名のメンバーさんが卒業されました。ミューのいえでは卒業半年前になると引っ越し先について話を始め、3ヶ月前になると本格的に内見に出かけます。3名とも「本当に引っ越し先が見つかるのか？」と心配されており、実際に審査が通らないなど苦労もありましたが、熱心に探してくださる不動産屋さんや、理解あるオーナーさんのご協力があり、無事にお部屋が見つかりました。

卒業後も武蔵野市在住の方は、自立生活援助事業という形で1年間の支援をさせていただきます。今後も、皆さんの一人暮らしに向けて精一杯お手伝いさせていただきます。



ピアサポートに関する法人内研修

ご報告

MEWでの勤続18年目になるピアスタッフ、関口明彦職員が8月13日に法人職員全体に対して研修を行いました。本研修は、従来ピアスタッフと共に働くライフサポートMEW内で行ってききましたが、法人全体でもピアサポートについて理解を深めるため、昨年度より全職員に対して年一回実施しています。昨年度は「ピアスタッフの立ち位置とピアの意味」と題して行いました。「普段、当たり前と一緒に働いてきた関口職員の活動も含め知らないことがあった」という感想があり、ピアスタッフが普段「当たり前」に「一緒に勤務している」MEWらしさを再認識できました。

今年度の研修では「リカバリーに向けての支援について」でした。リカバリーの種類には3つあり、特に「当事者自身が決めた希望する人生の到達を目指すプロセス」である「パーソナル・リカバリー」を応援する支援者の心構えが話されました。また、精神科医エリック・バーン博士のプラスのストローク(他の人の存在を認めるための行動や働きかけ)についての話では、関口職員自身のリカバリーに役立ったことを教えていただきました。受講した職員からは「プラスのストロークについて目に見えるところに置きながら仕事をしたい」、「リカバリーについて改めて確認する良い機会になった」との感想が寄せられました。今後ともMEWはピアスタッフと協働していくことについて職員全体で考えを深めていきたいと思っております。

